

戦略3 次世代に向けた住みよいえべつづくり

計画期間 平成26年度～平成30年度

主管部局 健康福祉部・建設部 関係部局 企画政策部、教育部

めざす姿

- 子どもを産み育てたいと思えるまち、子育て後も安心して暮らせるまちをめざします。
- 駅周辺の利便性を向上させるとともに、駅を中心とした拠点とその他の地区とのネットワークを充実させ、すべての市民が快適に暮らせるまちをめざします。

戦略を構成するプロジェクト事業費の推移

名 称	実績				予算額			
	H26年度		H27年度		H28年度			計
					当初	H27補正		
3 A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり	84,275	千円	758,470	千円	286,769	0	286,769	千円
3 B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり (えべつ版コンパクトなまちづくり)	1,007,261	千円	843,477	千円	669,167	1,608	670,775	千円
計	1,091,536	千円	1,601,947	千円	955,936	1,608	957,544	千円

戦略プロジェクト3 A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり

【プロジェクトの目標】

子どもを産み育てる環境を充実させるとともに、多世代が関わり合いながら、社会全体で子育てをサポートする環境をつくることで、「子育てしながら働きやすいまち」「子どもを産み育てやすいまち」をめざし、子育て世代の定住促進に取り組んでいきます。

◆成果指標3 A-1 子育て環境が充実していると思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
49.2	44.4	50.0				60.0

◆成果指標3 A-2 江別市で子どもを産み育てたいと考えて転入してきた子育て世代（20～40代）の割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
5.7	6.3	6.1				8.0

■成果動向（評価）

子育て環境の充実とともに、子育て世代の定住促進に向けた各種事業を実施しているところであり、待機児童解消のため、新たに小規模保育施設を2箇所、事業所内保育施設を1箇所開設するほか、白樺・若草乳児統合園の建設に着手しています。また、小学校外国語活動を全小学校の1・2年生に拡大するとともに、子育てひろばやあそびのひろばにおける多様な事業を行うなど、教育内容や子育て環境の充実を図っています。これらの事業展開が、成果指標3 A-1の上昇につながりました。

■改善案（次年度へ向けた展開・課題・推進方向性）

待機児童解消のため、保育の受け皿の拡大を進めるとともに、教育内容の充実として、サポート教員ボランティアの登録促進、外国語指導助手の確保及び大学等との連携に努めるほか、子育てひろばにおけるソフト事業の充実や、あそびのひろばにおいて地域の実情に合わせた事業を展開するなど、引き続き子育て支援環境の整備を図ります。

◇推進プログラム3A-① 子どもを安心して産み育てられる支援体制の整備

- <課題>
- 年度途中からでも待機することなく保育園に入園できる体制の整備
 - 多様な保育（子育て支援）ニーズへの対応

- <取組の概要>
- ・待機児童解消の推進（子ども・子育て支援事業計画に基づく保育体制の整備）
 - ・市立保育園の整備と運営等に関する計画推進（白樺保育園と若草乳児保育園統合園の建設）

事務事業	指 標	H26年度	H27年度	H28年度(予算)	備 考
待機児童解消対策事業	入所できた児童数	13 人	76 人	97 人	
	事業費	6,475 千円	113,219 千円	165,706 千円	
白樺・若草乳児統合園建設整備事業	入所児童数	116 人	116 人	140 人	H28事業名変更「よつば保育園建設整備事業」
	入所率	97 %	97 %	100 %	
	事業費	22,077 千円	589,373 千円	81,273 千円	

◇推進プログラム3A-② 子育て世代が定住したくなる住環境の整備と教育内容の充実

- <課題>
- 学力の向上
 - 外国語活動の低年齢化への対応
 - スポーツに親しむ環境の整備
 - 市営住宅全団地に子育て世帯優先枠を拡充

- <取組の概要>
- ・全ての中学校で放課後の補充的学習を実施
 - ・全小学校の1・2年生に拡大して外国語活動を実施
 - ・大学との連携により、新たに「走り方教室」を実施
 - ・各団地の子育て世帯の入居を優先

事務事業	指 標	H26年度	H27年度	H28年度(予算)	備 考
小中学校学習サポート事業	学習サポート教員の年間派遣回数	3,707 回	3,732 回	3,665 回	
	事業費	9,163 千円	9,237 千円	9,327 千円	
児童生徒体力向上事業	児童生徒で体力が向上した割合（モデル校）	83 %	83 %	75 %	
	事業費	635 千円	635 千円	657 千円	
小学校外国語活動支援事業	小学校英語の総授業時数のうち、外国語指導助手が授業に入った割合	100 %	100 %	— %	H28年度から小中学校外国語教育支援事業へ統合
	事業費	19,099 千円	20,245 千円	— 千円	

◇推進プログラム3A-③ 多世代が交流する子どもの遊び場の充実

- <課題>
- 天候に左右されずに遊べる場所と交流事業の展開
 - 身近な地域におけるあそびのひろばの拡大
 - 多世代交流の場の創出

- <取組の概要>
- ・親子安心育成事業子育てひろばでのソフト事業の展開
 - ・あそびのひろば事業の拡充や、ボランティアの育成など、さまざまな運営主体への支援の検討
 - ・子育てひろばでの情報提供、交流事業
 - ・高齢者施設開設ひろばでの交流事業

事務事業	指 標	H26年度	H27年度	H28年度(予算)	備 考
親子安心育成支援事業（子育てひろば事業）	ひろば延べ利用者数	93 千人	85 千人	80 千人	
	託児延べ利用者数	397 人	646 人	900 人	
	事業費	24,139 千円	22,975 千円	26,885 千円	
あそびのひろば事業	あそびのひろば参加者数	1,513 組	1,278 組	1,800 組	
	事業費	2,687 千円	2,786 千円	2,921 千円	

【プロジェクトの目標】

江別市のまちの特性に合わせた駅周辺の活性化を進め、魅力ある住みよいまちを実現するとともに、様々なライフスタイルに対応するため、駅周辺の利便性を向上させることで、誰もが暮らしやすいまちづくりに取り組んでいきます。

◆成果指標3B-1 駅周辺の利便性が高いと思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
65.7	62.6	66.6				74.0

◆成果指標3B-2 江別市が暮らしやすいと思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
74.3	75.7	80.5				78.0

■成果動向（評価）

個別事業については、計画に基づき段階的な取組を進めているところであり、ほぼ計画どおり進捗しています。成果指標3B-1については初期値から横ばい傾向ですが、3B-2の成果指標である江別市が暮らしやすいと思う市民割合は目標を上回りました。なお、江別の顔づくり事業（野幌駅周辺）では、北口駅前広場や鉄西線が完成するなど、駅周辺の交通環境整備にあわせ、信号機の設置や歩道のバリアフリー化が進むなど、駅周辺の利便性が向上しています。

■改善案（次年度へ向けた展開・課題・推進方向性）

成果指標3B-1及び3B-2の更なる成果向上のため、今後も野幌駅周辺の基盤整備を着実に推進するとともに、バス路線再編に向けた計画策定や、地域おこし協力隊により大麻地区の住み替え相談等の充実を図るほか、新たに、人口減少対策として「転入増加」や「定住人口の維持」につなげる取組を進めていきます。

◇推進プログラム3B-① 様々なライフスタイルに対応した駅周辺の利便性の向上

<課題>

- 顔づくり事業の着実な推進
- 各駅周辺の利便性の向上

<取組の概要>

- ・野幌駅周辺の土地利用の増進
- ・駅周辺の快適性、利便性の向上
- ・バリアフリー化の推進

事務事業	指標	H26年度	H27年度	H28年度(予算)	備考
江別の顔づくり事業（野幌駅周辺土地区画整理事業）	事業費進捗率(累計)	63 %	74 %	83 %	
	事業費	1,001,384 千円	828,166 千円	609,606 千円	

◇推進プログラム3B-② 交通ネットワークの充実

<課題>

- バス利用者の減少によるバス交通の減便対策
- 南北間の交通ネットワーク構築
- バスに関する情報提供の工夫

<取組の概要>

- ・駅を中心としたバス路線見直しに向けた調査と実証運行を実施
- ・バス路線マップを随時見直しとバス利用の啓発を継続

事務事業	指標	H26年度	H27年度	H28年度(予算)	備考
公共交通利用促進対策事業	バス輸送人員	523 千人	554 千人	523 千人	
	事業費	2,934 千円	13,616 千円	4,569 千円	

◇推進プログラム3B-③ 高齢者等がいいきと活動しやすい居住環境の充実

<課題>

- 高齢者の住みかえニーズの把握
- 高齢者の住みかえ先の確保
- 市内既存の高齢者向住宅に係る実態把握
- 建設事業者の意向把握、誘導、指導

<取組の概要>

- ・大麻地区に住み替え相談窓口を開設するとともに、交流農園・寺子屋などのソフト事業を実施
- ・実態調査と事業者の把握、高齢者総合計画での展開
- ・ニーズと事業者のマッチング事業の研究

事務事業	指標	H26年度	H27年度	H28年度(予算)	備考
大麻地区住環境活性化事業	住まい相談件数	7 件	5 件	10 件	H28事業費の一部をH27補正前倒し
	事業費	2,943 千円	1,695 千円	4,992 千円	

